

令和4年度 第2回下野市生涯学習推進協議会議 議事録

審議会等名 令和4年度 第2回下野市生涯学習推進協議会議
日 時 令和4年9月13日(火) 午前10時から正午まで
会 場 下野市役所3階 教育委員会室
出席者 鈴木健一会長、楡木久美子副会長、田澤孝一委員、石川知子委員、上野文夫委員、
下山千恵子委員、梅山博行委員、大垣玉枝委員、菊地孝宏委員
【欠席委員】松本文男委員
市側出席者 (事務局)生涯学習文化課 浅香浩幸課長、近藤隆博主幹、大塚隆邦主査、本橋優花主事
・公開・非公開の別 (公開 一部公開 非公開)
・傍聴人 なし
・報道機関 なし
・議事録(概要)作成年月日 令和4年10月17日(月)

【協議事項等】

1. 開会

2. 会長あいさつ(鈴木会長)

お忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。次年度事業への提言についてまとめの時期に入った。委員の皆様のご意見を集約して市長へ提言をするので、積極的な協議をお願いします。

3. 議事

(事務局) これより議事の進行は会長をお願いします。

(1) 令和5年度事業への提言について

(鈴木会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料「令和5年度事業への提言について」に基づいて説明。第1回会議での意見及び会議後の追加意見を基に、会長と協議のうえ提言書(案)を作成した。

(鈴木会長) 第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理を軸として、提言書(案)をまとめた。次年度事業への提言について意見はあるか。

(石川委員) この提言書はぜひ現場にも届けていただきたい。提言書の中に「公民館」は多く記載されているが、今年度5月にオープンした「市民活動センター」は全く記載がない。教育委員会のみで収めず、全庁的な生涯学習の推進をお願いしたい。

(田澤委員) 提言前文の「急速に進行するICT環境」を、例えば「急速に進行する生活環境のICT化」とした方が、昨今の急激なICT化についていけない方がいる現状が伝わりやすいのではないか。また、提言1.「命を守る」生涯学習・社会教育の取り組み強化①新型コロナウイルス感染症に関する取り組みにある「フレイル」という用語はまだまだ定着していないと思われるため、分かりやすく言い換えるか()で用語説明を入れるなどの工夫をしていただきたい。

(事務局) 変更のご提案について、検討させていただく。

(大垣委員) 提言3. 子ども・若者・子育て世代の地域・社会への参画の推進①主体的な参画のた

めのきっかけづくり にある「概して」はわかりにくく、適していないように思う。

(石川委員) 調べたところ、同義語に「総じて」「押し並べて」がある。

(事務局) 同義語の「総じて」に変更する。

(菊地委員) 同じく提言3. 子ども・若者・子育て世代の地域・社会への参画の推進②学校教育・家庭教育・社会教育の連携深化 に「家庭教育は、全ての教育の根本であり～」とある。核家族の増加などが原因で家庭での教育力が低下し、学校が大変苦勞されていることは知っているが、そこまで家庭教育が根本・原点であることを強調する必要はないように思う。家庭・学校・地域が一体となって子育てができるよう支援をしていく必要がある。

(石川委員) そこに続く「学校教育の前段としての役割を果たすことが求められる」という表現も適していないと考える。学校へ入学したら、家庭教育は不要になるかのようにも受け取れる。

(田澤委員) 中央教育審議会では「家庭教育は全ての教育の出発点」と表現されている。

(鈴木会長) では、「家庭教育は全ての教育の出発点であり、学校教育、社会教育とも連携した家庭教育に関する支援の推進が必要である。」と変更したい。

(田澤委員) 今までの協議を受けると、提言3の副題②学校教育、家庭教育、社会教育の連携深化は家庭教育が始めにくるべきではないか。

(鈴木会長) 田澤委員の提案のとおり変更することとする。以上、本日いただいた意見を基に訂正し、令和5年度事業への提言として提出してよろしいか。

(委員一同) 異議なし。

(鈴木会長) 公民館では8月ごろに次年度講座の企画がされると耳にした。この第2回会議を公民館講座の企画に間に合うよう、もう少し早い時期の開催を検討していただきたい。

(事務局) 委員の多くは各所属からの推薦となっており、例年、各所属からの推薦の報告が出るのが6～7月となっている。時期を早めるには他の委員会との調整が必要になるが、検討を進めさせていただく。

(2) 生涯学習推進に関する情報交換

(事務局) グループに分かれて、各所属や日頃の活動に関して情報交換をする時間とする。

○各グループでの意見まとめ

Aグループ (鈴木会長・田澤委員・下山委員)

- ・現職世代で生涯学習に関わりを持つ方を増やしていきたい。
- ・生涯学習による環境問題改善のための取り組みをしたい。
- ・国分寺地区で実施されている読み聞かせ事業のような、小中学生と一緒に活動する機会を多く設けたい。

Bグループ (楡木副会長・石川委員・梅山委員)

- ・あらゆる分野の団体やサークルで後継者がおらず、高齢化が進んでいる。子どものころから地域に関わることが身につけていけば、大人になっても地域社会に関心を持つ方が育っていくのではないか。
- ・今の若年層の仲間づくりは、インターネット上(SNS等)であることが多い。若年層の社会参画のツールになるのであれば、行政側も積極的に対応していくことが必要ではないか。

Cグループ (上野委員・大垣委員・菊地委員)

- ・若者が高齢者を、高齢者が若者を理解できるような、世代間交流の機会があると良い。

・子育て中の方、退職後の方、介護中の方などのあらゆる悩みや弱音を受け止め、手を差し伸べていけるような体制づくりを進めていきたい。

4. その他

(事務局) 近く実施される生涯学習事業について紹介させていただく。

- ・ 9月24日ー 9月25日 グリムの森フェスティバル
- ・ 9月27日 ひとまちトークセッション「シモトゥケ」
- ・ 10月 3日ー 3月31日 自治医科大学公開講座(動画配信)
- ・ 10月 1日ー10月11日 とちぎ国体
- ・ 12月 4日 石橋複合施設供用開始

5. 閉会

(事務局) 次回は3月22日(水)午後1時30分～開催予定である。